



第2部 「生涯教育実践研究交流会 40年を振り返って」

- 登壇者 大城 喜江子(沖縄県浦添市立森の子児童センター)
 鶴木 孝夫(かごしま県民大学中央センター)
 竹内 一久(宮崎県諸塚村教育委員会)
 三角 幸三(コミュニケーションプログラムデザイン研究所)
 武次 寛(長崎県社会教育支援 草社の会)
 関 弘紹(佐賀県立生涯学習センター(アバンセ))
 中尾 治司(愛媛県伊予市立佐礼谷小学校)
 濱崎 博志(NPO法人高知県生涯学習支援センター)
 赤田 博夫((公財)山口県人づくり財団 県民学習部)
 吉岡 康行(広島県海田町立海田西小学校)
 原田 尚(鳥根県出雲市立灘分小学校)
 平野 康博(鳥取県教育委員会事務局社会教育課)
 東川 絵葉(岡山県倉敷市立第四福田小学校)
 岡田 正彦(国立大学法人 大分大学)
 聞き手 大島 まな(九州女子大学)

※所属は、令和5年3月末現在のものです。

総括閉会式 11:30~12:00 2F講堂

【参加費等】

- ① 大会参加費は、20日(土)・21日(日)両日参加、20日(土)のみの参加の方は、2,000円(学生1,000円)、21日(日)のみ参加の方は1,000円(学生500円)です。
- ② 宿泊代(シーツ代)は、宿泊数に関係なく一律300円です。
- ③ 19日(金)の情報交換会の参加費は、3,000円(学生1,000円)です。
- ④ 20日(土)の大会交流会の参加費は、4,000円(学生2,000円)です。
- ⑤ 食堂の御利用は、朝食600円、昼食800円(事前予約)です。
※当日の受付にておつりが無いように御準備ください。

【申込方法】電子申請(福岡県立社会教育総合センターホームページ)…右下QRコードよりお申込みください。

申込内容の漏れ等を防ぐため、電子申請による手続きでのお申込みを推奨しております。

なお、電子申請が御不安な方は、直接お電話ください。電子申請の入力方法をお伝えします。また、場合によっては、代行入力いたします。

また、FAXでのお申込みを御希望の場合は、同封の参加申込書に御記入の上、下記【お問合せ先】へ送信してください。(参加申込書は、当センターホームページからダウンロードできます。)

※申込締切 令和5年5月8日(月)

※締切以降は、「当日参加」の受付となります。

※手話通訳を御希望の方は、備考欄に記入されるか、電話、メール等で事前にお申し出ください。



【留意事項】

- ① 食事のキャンセルは、大会10日前(5/9)までです。キャンセルの連絡がない場合、お申込みいただいた食費(情報交換会・大会交流会も含む)をお支払いいただきますので御了承ください。
- ② 宿泊される方は、タオル・歯ブラシ等、身の回りの品は御持参ください。(スリッパはありません。)石けん・シャンプーは用意しております。
- ③ 新型コロナウイルス感染症の状況によっては、以下のことをお願いする場合があります。御了承ください。
◆検温 ◆マスク着用 ◆手指消毒

お問合せ先

福岡県立社会教育総合センター 研修・情報室 〒811-2402 福岡県糟屋郡篠栗町大字金出3350-2
TEL:092-947-3512 FAX:092-947-8029 E-mail:kensyu-jyouho@pref.fukuoka.lg.jp

生涯教育・生涯学習の実践が集う

中国・四国・九州地区

生涯教育実践研究交流会

あかげさまで
第40回

期日

令和5年5月20日(土)・21日(日)

〔情報交換会5月19日(金)〕

会場

福岡県立社会教育総合センター

(福岡県糟屋郡篠栗町大字金出3350-2)

TEL:092-947-3512 FAX:092-947-8029

日程・プログラム

前日 5.19 FRI	19:00	20:00	1日目 5.20 SAT	9:30	10:15	10:45	12:30	13:00	13:30	16:10
	情報交換会	実行委員会		受付	開会式	実践発表①	昼食	受付	実践発表②	
移動	16:30	17:00	18:00	20:00	2日目 5.21 SUN	8:30	9:00	11:30	12:00	
	特別報告 報告者 三浦 清一郎 「幼老共生の社会教育戦略」 愛知県扶桑町の市民聴講制度と 福岡県飯塚市の熟年者マナビ塾 ～義務教育学校の市民開放～	第40回 大会交流会	フリータイム	受付		特別企画 【第1部】「教育こそ未来より先に動かなければならない」 講師 三浦 清一郎(月刊生涯学習通信「風の便り」編集長) 登壇者 森本 精造(元飯塚市教育委員会教育長) 古市 勝也(九州共立大学名誉教授) 大島 まな(九州女子大学教授) 聞き手 菊川 律子氏(放送大学副学長) 【第2部】「生涯教育実践研究交流会 40年を振り返って」 登壇者 各県実行委員 総勢14名 聞き手 大島 まな(九州女子大学教授)	総括 閉会式	昼食		

主催 福岡県教育委員会 日本生涯教育学会九州支部
主管 中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会第40回大会実行委員会
福岡県立社会教育総合センター

テーマ 地域のウェルビーイングの実現 ～社会教育・生涯学習が中核～

令和5年は、社会教育・生涯学習の仲間にとって、「『コロナ禍』からの脱却!交流活動の再生!」です。昨年から今年にかけて新型コロナに関する規制が徐々に緩和され、5月8日には、今の「2類相当」から季節性インフルエンザ並みの「5類」に移行することが決定しました。生活がコロナ禍以前に戻る事が期待されているのです。

まさにこのタイミングで、記念すべき第40回「中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会（以下「交流会」）が開催されることは、社会教育が大切にしてきた「集い・学び・つながり・行動する」という「活動の原点」を確認する場になると確信します。それは、3年ぶりに開催した第39回「交流会」で、中国・四国・九州地区という広域の地域から「人はなぜ集うのか」の原点が分かったからなのです。すなわち、人は、実践活動の友に「会いたい・認め合いたい・手応えを感じたい」、そして「つながり・認め合う仲間」を求めているのです。今大会も、学び・活動の仲間と「交流会」の原点を確認し合いたいです。

一方、令和5年3月、教育基本法に基づく「第4期教育振興基本計画」（令和5～9年度）の答申がなされました。注目は、今後の教育政策の総括的な基本方針として「①持続可能な社会の創り手の育成」、「②日本社会に根差したウェルビーイングの向上」を挙げていることです。特に、ウェルビーイングとは身体的・精神的・社会的に良い状態であると定義しています。それは「一人ひとりが幸せであるとともに社会全体も幸せでもある良い状態」と言えます。そして「欧米の価値観にとらわれず、日本ならではの考え方に立つべきだとして、具体的な要素として幸福感、協働性、利他性、自己実現などを挙げています。

まさに、永年社会教育が日常生活を通して大事にしてきた、ご近所さんで「集い、学び、協力し、助け合い、励まし合い、いたわり合って」推進してきた「共同・連帯」の「地域づくり」そのものです。

今年は、コロナ禍前の28事例発表に戻しました。推薦いただいた各県実行委員会の皆さまに心から感謝申し上げます。さらに、特別企画として「40回大会」を記念して、40回を振り返り、次なる「未来の必要」についての提言を試みます。特に、各県実行委員会の皆さまに登壇・提言いただき、みんなが創り上げる「交流会」に発展させたいです。参加者みんなで語り合しましょう。本会をご支援・ご指導くださいます福岡県教育委員会、福岡県立社会教育総合センターに心より厚く感謝申し上げます。

中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会 代表世話人 古市 勝也

5/19 (金) 情報交換会 19:00～
参加者、各県実行委員会の皆さまとの情報交換会の場を設けました。一緒に食事をとりながら、ゆっくりと御歓談ください。

5/20 (土) 開会式 10:15～10:45 2F講堂

午前 実践発表① 10:45～12:30

2階 第1会場 第4研修室

- 大良(だいら)の地域づくりの手法と課題
～小学校廃校を目前にした新たな求心力の創出～ 金嶽 栄作(佐賀県唐津市大良)
- 「子どもたちに豊かな放課後の時間を!」
～飯塚市放課後児童クラブの取組～ 井上 真一(福岡県飯塚市)
- 学校と地域をつなぐ地域教育プロデューサーの役割と活用 柴田 麻弓子(愛媛県西予市野村町)

2階 第2会場 自由研修室

- さあ、未来を語ろう!みんなでつくろう!
～対話から生まれる自然を活かした持続可能なまちづくり～(仮題) 村上 有希・宮原 絵理(福岡県香春町)
- 大豆100粒運動の10年の成果と未来へのチャレンジ
～運動が繋いだ縁で学校・地域・企業の輪に広がる～ 池田 龍二(佐賀県佐賀市)
- 諸塚アートプロジェクトによる共創 ～子どものチカラでミライを創る～ 森 佑介(宮崎県東臼杵郡諸塚村)

4階 第3会場 視聴覚室

- 地域でつながる未来への子育て支援
～子育てサロン ちくちくワンダーランドの活動を通して～ 十時 恵美・森田 保恵(福岡県直方市)
- カタろうよ!コミュニティ・スクール 地域学校協働活動 池端 幸徳(熊本県熊本市)
- タッグで取り組む青少年の健全育成
～公民館と青少年育成アドバイザーの連携について～ 河本 真志(鳥取県八頭郡若桜町)

4階 第4会場 大研修室

- 「だいすけさん、にわとりをさばくキャンプがしたいんですけど…」
～「にわとりキャンプ」を通して見る子どもとスタッフの育つ場づくり～ 大久保 大助(福岡県北九州市)
- 市民生活を豊かにする場としての動物園 ～動物福祉、ワンヘルス、ワンウェルフェア～ 椎原 春一(福岡県大牟田市)
- 多様な教育の担い手とつながる「子ども・地域教育フォーラム」の挑戦
～KEW(Kumamoto Education Week)の舞台を活用して～ 小原 恵二(熊本県熊本市)

ふるさと自慢ポスター展

あなたのまちの「むらおこし」「まちづくり」「ひとづくり」などのイベントポスターやチラシで、故郷自慢を広くアピールしませんか?

- **参加資格** 誰でも展示できます。
- **出品数** 1イベント1点
- **提出方法** 大会当日受付にてお申し出ください。
- **留意事項** ポスター・チラシに限ります。展示品は返却できませんので、予め御了承ください。

午後 実践発表② 13:30～16:10

2階 第1会場 第4研修室

- 廃校を拠点とした、ふるさと自然体験の場の創造 浦田 愛(広島県三次市上田町)
- 廃校小学校の活用(芸術文化交流施設の誕生) 白岩 雄一郎(鳥取県八頭郡八頭町)
- 生涯学習発信基地 野老山(ところやま)おとなの学校 山中 千枝子(高知県高岡郡越知町野老山)
- 町ぐるみ「和木学園」構想 ～生涯学習を土台とした町づくり～ 重岡 良典(山口県玖珂郡和木町)

2階 第2会場 自由研修室

- 子育て支援講座「ほのぼのくらぶ」の25年 ～過去・現在・そして未来へ～ 布施 美里(島根県出雲市大社町)
- 山口県長門市家庭教育支援チーム「ふあみ」の活動と成果(仮題) 久保田 啓子(山口県長門市)
- 夏休みは「早寝・早起き・ラジオ体操・朝ごはん」
～40年続く、今日も元気なお話おばちゃん～ 木村 泰代(佐賀県佐賀市諸富町)
- 子どもの居場所と若者自立支援 ～おせっかいおばさん奮闘記～ 當山 洋子(沖縄県宜野湾市)

4階 第3会場 視聴覚室

- は・あ・と・ふ・る運動と「つながり」で目指す持続可能なふるさとづくり 佐々木 義信(長崎県西海市)
- 「地域の学びを豊かにし、地域と学校をつなぐ」
～益田市発 社会教育コーディネーターの挑戦～ 八川 将也・辰己 遥・東島 今日香・石井 七実・大峠 直也・桐 雅幸(島根県益田市)
- 「コミュニティスクールでの地域とともに取り組む教育課程を考える」(仮題) 佐藤 裕一(大分県別府市)
- 地域ぐるみで育てる「入来(いりき)小学校ジュニア歴史ガイド」の実践と課題 東原 辰巳(鹿児島県薩摩川内市)

4階 第4会場 大研修室

- 学童保育における「保教育」プログラム実践の成果と課題
～「井関元氣塾」のその後～ 上野 敦子(山口県山口市)
- リアルとオンラインの融合による交流活動の開発
～ハイブリッドワークショップの進行術の試行～ 緒方 清美・民長 博美(熊本県熊本市)
- 公民館と学校の連携による地域の活性化と地域を担う人材育成の手法
～「SDGsセミナー」を通して～ 山根 敬仁(岡山県倉敷市)
- 「誰でも、講師になれますよ!」思いを告げる楽しさ!話し方卒業生のその後 矢野 大和(大分県大分市)

特別報告 16:30～17:00 2F講堂

「**幼老共生の社会教育戦略**」
愛知県扶桑町の市民聴講制度と福岡県飯塚市の熟年者マナビ塾
～義務教育学校の市民開放～ **報告者 三浦 清一郎**

第40回大会交流会 18:00～20:00 2F体育館

参加者、実践発表者、各県実行委員会の皆さまが一堂に会して、交流を深める場を設けています。以下の内容で実施します。御参加をお待ちしています。

食事、各都道府県の紹介、歓談(名刺交換)、おらがまちの名物自慢(特産品)オークション

5/21 (日) 第40回大会 特別企画 9:00～11:30 2F講堂

第1部 「教育こそ未来より先に動かなければならない」

登壇者・聞き手 三浦 清一郎(月刊生涯学習通信『風の便り』編集長)

登壇者 森本 精造(元飯塚市教育委員会教育長)

古市 勝也(九州共立大学名誉教授)

大島 まな(九州女子大学教授)

聞き手 菊川 律子氏(放送大学副学長)

「おらがまちの名物自慢」

あなたのまちの名物は何ですか?地酒・焼酎・海産物・お菓子……。毎回、参加者がお国自慢の品々を持ち寄る「おらがまちの名物自慢」。今年は4年ぶりに「オークション」での競売を行います。大会当日、専用受付にて、所属・氏名・特産品名・セールスポイント・設定金額等を御記入いただき、お預けください。たくさんの御参加、お待ちしております。※「生もの」や「手作り雑貨」の出品は、なるべく御遠慮ください。

